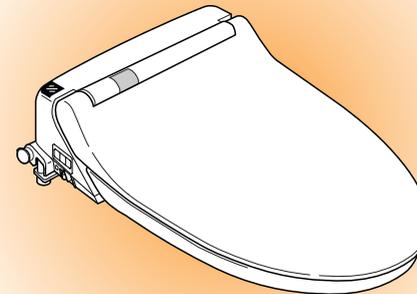


ウォシュレット アプリコットKN3 TCF434



お客様専用窓口

商品の
お問い合わせは

TOTOお客様相談室へ

☎0120-03-1010

受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

補修用部品
ご購入は

TOTOパーツセンターへ

☎0120-8282-55

受付時間：平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理の依頼は

東陶メンテナンス(株)へ

☎0120-1010-05

受付(年中無休)
受付時間：関東・甲信越地区 8:00-20:00
上記以外の地区 9:00-20:00
訪問修理(年中無休)
営業時間： 9:00-18:00

愛情点検	ときどきウォシュレットの点検をしましょう！	
	こんな症状はありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> コードを動かしたりすると、電源が切れたり入ったりする。 電源プラグやコード及び本体などが異常にあつた。 本体から異常な音やにおいがする。 本体から水漏れしている。
		<p>このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ず東陶メンテナンス(株)にご相談ください。</p> <p>※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。</p>

修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

安全上のご注意	2	はじめに
使用上のご注意	5	
上手な使いかた	5	
機能の紹介	6	取り付けかた
各部のなまえ	8	
取り付けかた	10	使いかた
ご使用前の確認	25	
使いかた	28	お手入れ
快適な機能	30	
<ul style="list-style-type: none"> 温度調節のしかた 脱臭のしかた 	30	
節電機能	32	
<ul style="list-style-type: none"> タイマー節電のしかた おまかせ節電のしかた 	32	
お手入れのしかた	35	こんなときは
<ul style="list-style-type: none"> お手入れの前に 日常のお手入れ 念入りなお手入れ 定期的なお手入れ 電源プラグのお手入れ・点検 脱臭フィルターのお手入れ ノズルのお手入れ 給水フィルターのお手入れ 	35	
<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグのお手入れ・点検 脱臭フィルターのお手入れ ノズルのお手入れ 給水フィルターのお手入れ 	39	
<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグのお手入れ・点検 脱臭フィルターのお手入れ ノズルのお手入れ 給水フィルターのお手入れ 	40	
<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグのお手入れ・点検 脱臭フィルターのお手入れ ノズルのお手入れ 給水フィルターのお手入れ 	40	
<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグのお手入れ・点検 脱臭フィルターのお手入れ ノズルのお手入れ 給水フィルターのお手入れ 	41	
<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグのお手入れ・点検 脱臭フィルターのお手入れ ノズルのお手入れ 給水フィルターのお手入れ 	41	
凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置	43	
故障かな?と思ったら	46	
脱臭カートリッジの取り替えかた	50	
アフターサービス	51	
<ul style="list-style-type: none"> 定期点検情報 	51	
仕様	52	
交換部品/別売品	53	

■このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■定期的に交換が必要な部品があります。
詳しくは51ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	---

 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
---	---

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
	⊘ は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

警告

 水かけ禁止	本体や電源プラグに水や洗剤をかけない ●火災や感電の原因になります。
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない ●火災や感電の原因になります。
 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造は行わない ●火災や感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因になります。
 禁止	故障したままでウォシュレットを使いつづけない ●次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。 故障とは… ・配管や本体から水漏れしている ・異音、異臭がしている ・製品が異常に熱い ・製品にひびや割れが入っている ・製品から煙がでている ●故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。 ☎ アフターサービスは51ページ

警告

 禁止	電源コードや便座コードを破損するようなことはしない 引っぱらない、ねじらない、無理に曲げない、傷つけない、加工しない、加熱しない、重いものを載せない ●傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない ●火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや、交流100V以外での使用はしない ●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
 必ず守る	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない ●皮膚の炎症などを起こす原因になります。
	逆流防止装置(バキュームブレーカー・Oリング)は水の安全を確保するために定期的な点検を行う ●逆流防止装置(バキュームブレーカー・Oリング)が正常に機能しないと、状況によっては、一度吐水した水が逆流する原因になります。 ☎ 定期点検情報は51ページ
	低温やけどに注意する ●ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。 ●次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」、乾燥の温度調節を「低」にしてください。 ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方 ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方 ・眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方、 ・深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方
 プラグ抜き励行	電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む ●火災や感電の原因になります。 プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く ●コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
 アース接続	アース(D種接地)工事がされていることを確認する ●アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

⚠ 注意



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。

温風吹出口に指やものを入れたり、吹出口付近に近づかない

吹出口に手を置かない、衣服をかぶせない

- やけど、感電、焼損の原因になります。



お手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

〔トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロンたわしなど〕

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。

製品を破損するようなことはしない

強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたや本体の上に乗らない、重いものを載せない

- 割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

- 本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない

- 水が噴き出します。 ☞ 給水フィルターのお手入れは41ページ

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

- 安全のために電源プラグを抜いておいてください。
- 再使用するときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になりますので、再通水してご使用ください。 ☞ 再通水のしかたは45ページ

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

- 確実に締めないとき水漏れの原因になります。

凍結による破損の予防を行う

- 凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れる原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。 ☞ 凍結による破損の予防は43ページ



必ず守る

使用上のご注意

次のことをお守りください。

本体、便座、便ふたは乾いた布やトイレットペーパーなどでふかない

- 傷つきの原因になります。
- ☞ お手入れのしかたは35ページ

直射日光が当たらないようにする

- 変色や暖房便座の温度ムラが生じたり、リモコンでの作動不良の原因になります。

本体やノズルに小便がかからないようにする

- 故障の原因になります。



着座センサー及びリモコン送信部・受信部をおおわない

- 着座センサー及びリモコンが作動しない原因になります。



便ふたに寄りかからない

- 便ふたが傷つく原因になります。



雷が発生しているときは、電源プラグを抜く

- 故障の原因になります。



ラジオなどはウォシュレットから離して使う

- ラジオに雑音が入ることがあります。

上手な使いかた

上手に節電・節水をして、地球環境を保護しましょう。

タイマー節電を使いましょう

一度設定すると毎日その時間に便座ヒータが切れて節電します。節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。

☞ 32ページ



おまかせ節電を使いましょう

トイレをあまり使わない時間帯を記憶して、自動で便座の温度を下げて節電します。

☞ 33ページ



タイマー節電とおまかせ節電を同時に使うことができます。

温度調節を低めにしましょう

寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。

☞ 30ページ



便ふたを閉めましょう

便ふたを閉めておくと、便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。



長期間使用しないときは「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう

外出時などに「運転入/切」を「切」にしておくと節電になります。



機能の紹介

製品名称、製品品番は便ふたの裏に記載しています。

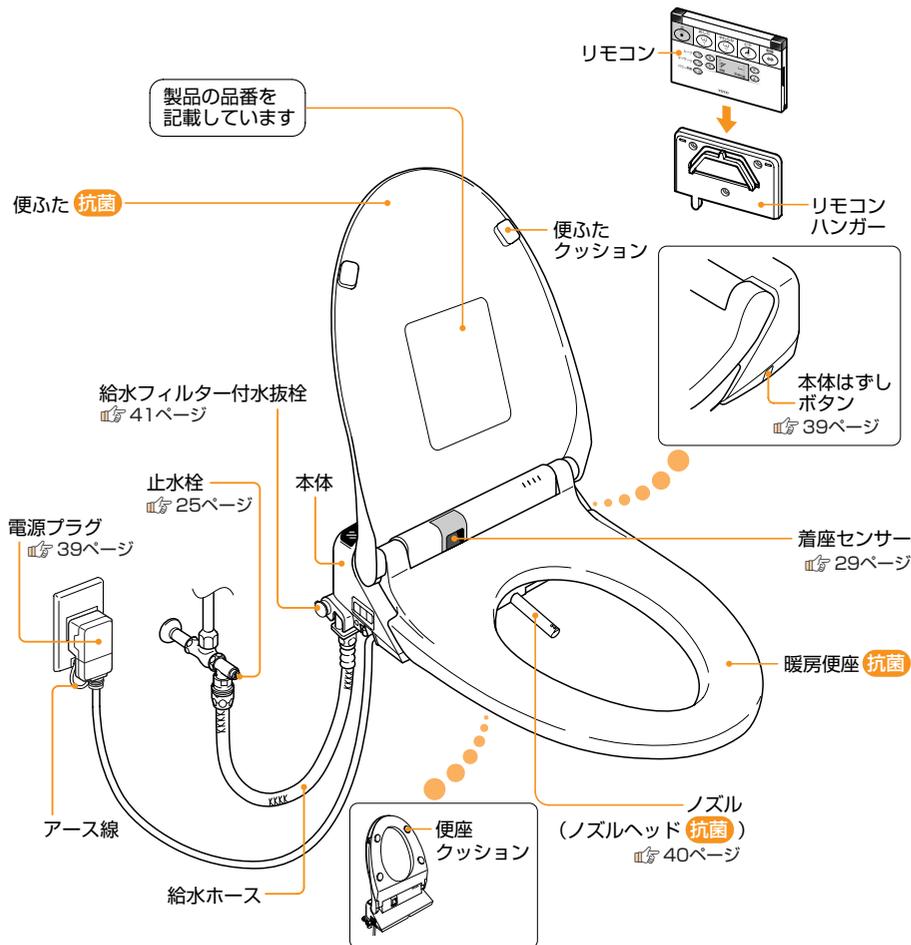
洗浄機能		参照ページ
ワンダーウェーブ おしり洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ●1秒間に70回以上強い吐水と弱い吐水を繰り返す、ワンダーウェーブ洗浄。今までにない心地良い洗浄感でおしりを洗います。さらになっぶり感が向上しました。 ●やわらか・ピデ洗浄は旋回水流でやさしくワイドに洗いあげます。 	28
ワンダーウェーブ やわらか洗浄		
ワンダーウェーブ ピデ洗浄		
洗浄位置調節	●ノズルの位置が前後に調節できます。	28
水勢調節	●水勢の強弱を調節できます。	28
ムーブ洗浄	●ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	28
マッサージ洗浄	●強弱をつけた水勢で洗います。	28

快適機能		参照ページ
暖房便座	●便座をあたためます。	—
温風乾燥	●ぬれた部分を乾かします。	29
温度調節	●温水、便座、乾燥の温度を調節できます。	30
脱臭	●便器内のおいをとります。	30、31
パワー脱臭	●吸い込む力をアップさせて便器内のおいをとります。	31
オートパワー脱臭	●便座から立ち上がると自動でパワー脱臭を行います。	30、31
リモコン	●ラクな姿勢で操作できます。	9
ソフト閉止	●便座・便ふたがゆっくり閉まります。	—
着座センサー	●便座に座ると各機能がはたらきます。	29

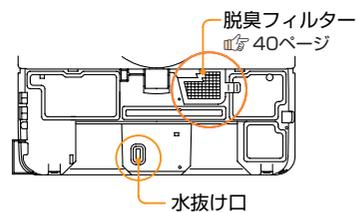
節電機能		参照ページ
タイマー節電	●一度設定すると毎日その時間に便座ヒータが切れて節電します。 (節電時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。)	32、33
おまかせ節電	●トイレをあまり使用しない時間帯を記憶して、自動で便座の温度を下げ節電します。	33、34
運転入/切スイッチ	●このスイッチを「切」にすることで暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	25

清潔機能		参照ページ
便座・便ふた着脱	●便座・便ふたが簡単に、取りはずせます。 お掃除も簡単です。	37、38
本体ワンタッチ着脱	●本体がワンタッチではずせます。 便器の奥まで簡単にお掃除できます。	39
抗菌	●便座、スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	8、9、52
セルフクリーニング	●洗浄の前後に、ノズル先端部を自動でしっかり洗います。	—
ノズルまるごと洗浄	●ノズルが伸出・収納するときに、ノズル本体をしっかり洗います。	—
ノズルそうじスイッチ	●ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除もラクにできます。	40

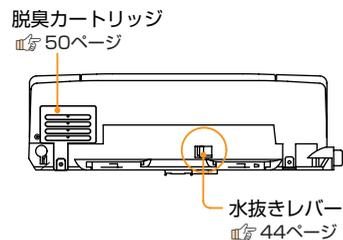
各部のなまえ



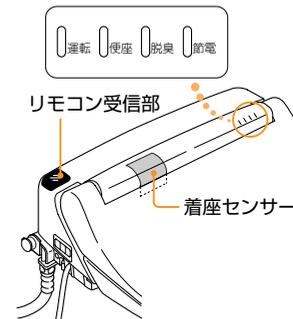
本体底面



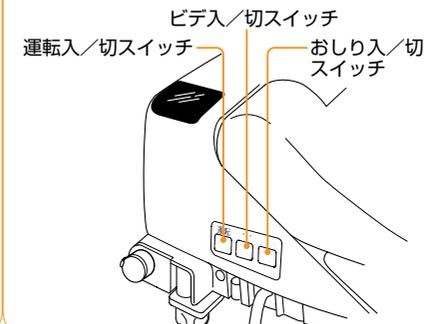
本体背面



本体表示部



本体操作部

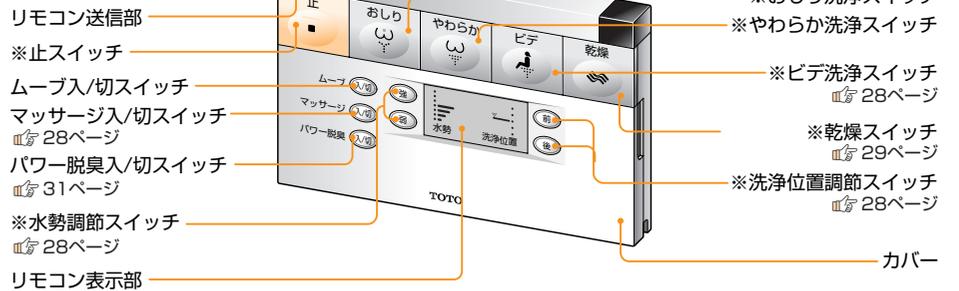


リモコン

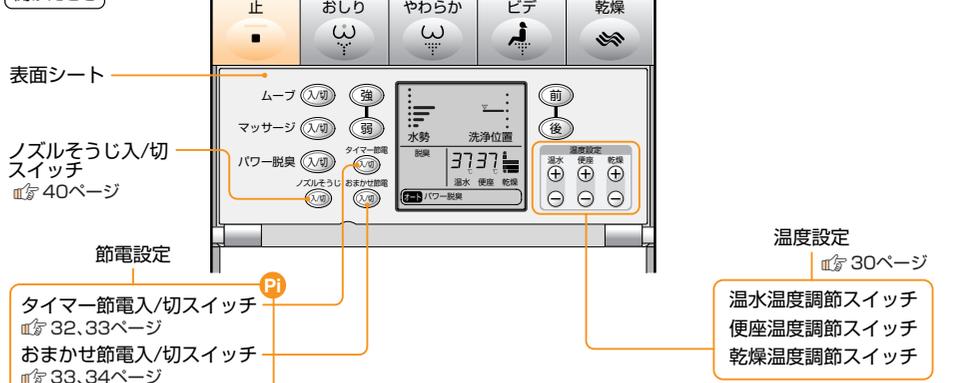
- 目の不自由な方のために「止」「おしり」のスイッチに触覚記号(突起)を設けました。
- ※スイッチ用としてシールを同梱しています。必要なときにご使用ください。

カバーを開けたとき

抗菌・・・スイッチは抗菌処理をしています。



カバーを開けたとき



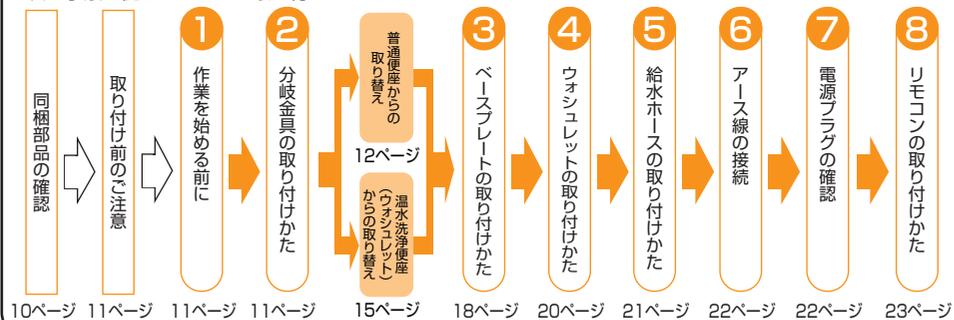
Pi・・・本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音がなります。

取り付けかた

お取り付けの前には必ずこの項をよくお読みいただき、手順に従って、正しく取り付けください。
 商品については、TOTOお客様相談室 ☎0120-03-1010にお問い合わせください。
※安全上の警告・注意及び使用上のご注意 (11ページ2~5ページ) を必ずお守りください。

取り付け手順

次の手順に従って、正しく取り付けください。



同梱部品

ウォシュレット本体



使用する主なもの



次の工具があれば便利です

- モンキーレンチ ●ドライバー
- 電気ドリル
- ドリル歯φ6 (鉄工ドリルまたはコンクリートドリル)
- パイフカッター (内ねじタイプの止水栓の場合や温水洗浄便座(ウォシュレット)からの取り替えの場合、フレキホースを使用せず、既設の給水管を切断するときに使用します。)
- ハンマー

●次の部品があるかどうか確認してください。

①リモコン部品

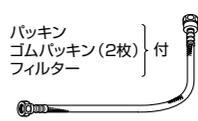


②給水ホース



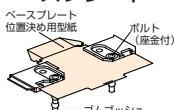
パッキン付

③ロータンク接続用フレキホース



パッキン
ゴムパッキン(2枚)
付
フィルター

④ベースプレート



※このままの状態での取り付けができます。

⑤分岐金具(スピンドル付)



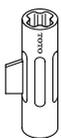
※スピンドルは分岐金具にセットされています。

⑥分岐継手



※内ねじタイプの止水栓の場合のみ使用します。

⑦便座はずし工具



⑧専用スパナ



⑨取扱説明書, 使いかた説明シート, 快適宅記便, アンケート用紙, フック, 点字シール, 保証書



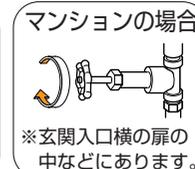
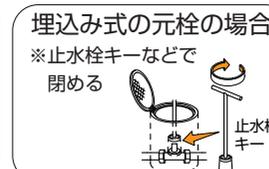
取り付け前のご注意

- すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
 ※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。
- 1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因になります。
- 3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は1277Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。(ウォシュレット専用の分岐配線をおすすめします。)
- 4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントの位置はウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
- 5. 給水圧力は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
- 6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 7. 給水ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、11ページ【⑥給水ホースの取り付けかた】の③項に長い給水ホースを記載していますので適切な長さのホースを選んでください。
 お求めはTOTOパーツセンター☎0120-8282-55へお電話ください。
- 8. 内ねじタイプの止水栓の場合や温水洗浄便座(ウォシュレット)からの取り替えの場合、同梱のロータンク接続用フレキホースを使用します。もし、フレキホースの長さが合わない場合は、14ページ【④ロータンク接続用フレキホース(同梱品③)を取り付ける】に長さ違いのフレキホースを記載していますので適切な長さのフレキホースを選んでください。
 お求めはTOTOパーツセンターTEL☎0120-8282-55へお電話ください。
 ※フレキホースを使用せず既設の給水管を切断して使用することもできます。14ページ
- 9. フラッシュバルブ式便器への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。

1 作業を始める前に

水道の元栓を閉める

- 元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。



- 元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

2 分岐金具の取り付けかた

- 現在ご使用の便座を確認してください。

普通便座の場合



温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合



11ページ

普通便座からの取り替え

にお進みください。

15ページ

温水洗浄便座(ウォシュレット)からの取り替え

にお進みください。

普通便座からの取り替え

※水道の元栓を開め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

1. 普通便座を取りはずす

①便座はずし工具（同梱品⑦）でナットをはずし、便座を取りはずす

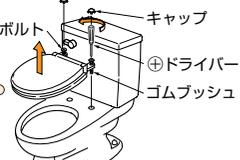
※金属ナットがさびてゆるまなときは、市販のスプレー剤をご使用ください。



※転居などのため取りはずした便座などの保管をおすすめします。

普通便座の取り付けがゴムプッシュ方式の場合

①キャップをはずす
②ボルトを④ドライバーでゆるめてはずし便座を取りはずす



2. 分岐金具を取り付ける

●現在ご使用の止水栓のタイプを確認してください。



一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓	寒冷地用の場合
●アンギュル形 外径13mmの給水管	●ストレート形	●アンギュル形 外径13mmの給水管 本体の内側にねじが切つてあるタイプ	●ストレート形

▶ 同ページ **A** にお進みください。

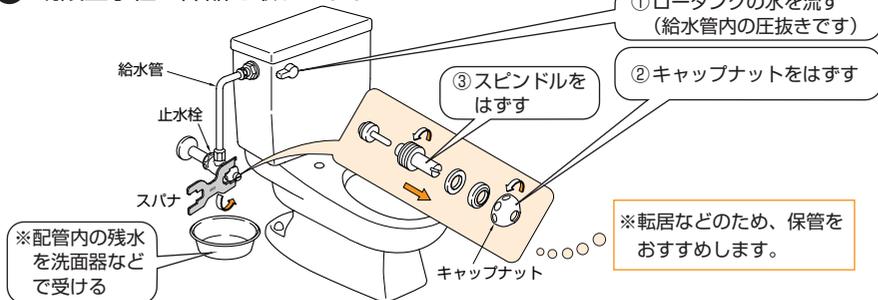
▶ 次ページ **B** にお進みください。

専門業者による取り付けが必要です。
お近くの販売店または東陶メンテナンス株式会社 ☎0120-1010-05 にご依頼ください。

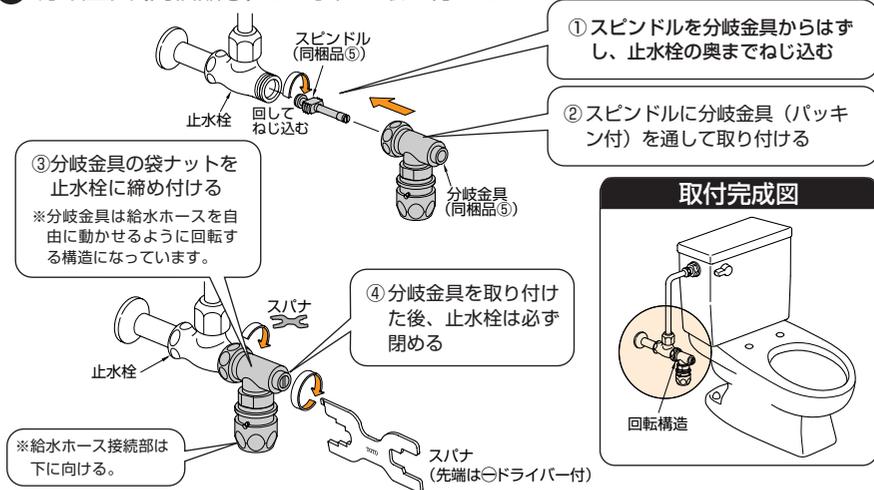
A. 一般的な止水栓の場合

●同梱品⑧の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

① 既設止水栓の部品を取りはずす



② 分岐金具（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける



▶▶▶ 18ページ ③ ベースプレートの取り付けかた にお進みください

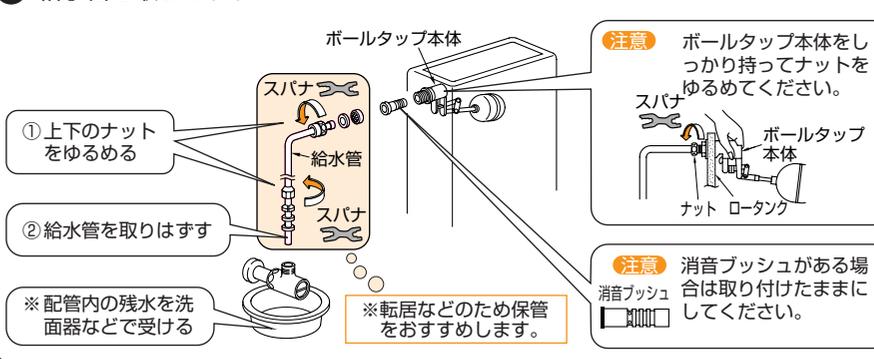
B. 内ねじタイプの止水栓の場合

●同梱品⑧の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。
※トイレの止水栓を開めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

① ロータンクの水を抜く



② 給水管を取りはずす



3 分岐継手(同梱品⑥)を止水栓に取り付ける

② スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む

※内ねじタイプの場合、スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

① 分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

分岐継手(同梱品⑥)

取付完成図



※この部分を回しても止水できません。

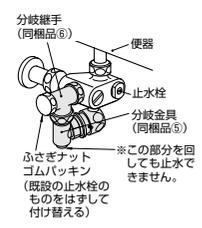
ワンピース便器の場合の取付完成図

取付手順

1. 止水栓を閉める
2. ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす(既設品)
3. パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
4. 分岐金具(スピンドル付)を分岐継手に取り付ける
5. ②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

確認

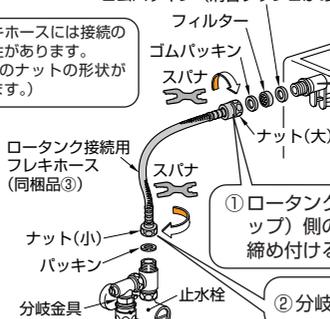
⑥. 接続部から水漏れがないか確認する



4 ロータンク接続用フレキホース(同梱品③)を取り付ける

ゴムパッキン(消音プッシュがある場合は不要)

※フレキホースには接続の方向性があります。(両端のナットの形状が違います。)

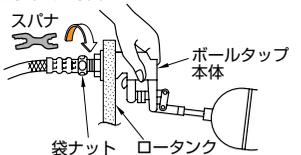


① ロータンク(ボールタップ)側の袋ナットを締め付ける

② 分岐継手側のナット(大)を締め付ける

注意

- ボールタップ本体をしっかり持って袋ナットを確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。



※ロータンク接続用フレキホースの長さが合わないときは、右図のA寸法に合ったフレキホースを表より選んでご購入ください。(同梱品のフレキホースの長さは400mmです。)

A寸法が150~200mmの場合は、450mmのフレキホースをループさせてご使用ください。



A寸法(mm)	フレキホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2	¥1,450 (税込 ¥1,523)
200~250	300	TCA61-3	¥1,550 (税込 ¥1,628)
250~300	350	TCA61S	¥1,600 (税込 ¥1,680)
300~400	450	TCA61-1S	¥1,700 (税込 ¥1,785)

ロータンク接続用フレキホースを使用せずに取りはずした給水管を切断して使用することもできます。

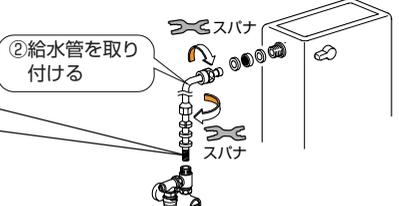
① 給水管を切断する



差込部分10~15mmを必ず確保する



- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。



18ページ 3 ベースプレートの取り付けかた にお進みください。

温水洗浄便座(ウォシュレット)からの取り替え

※水道の元栓を開め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

1. 温水洗浄便座(ウォシュレット)を取りはずす

TOTOウォシュレット(代表例を示す)

① 電源プラグをコンセントから引き抜く

② 連結管のナットをゆるめ、取りはずす

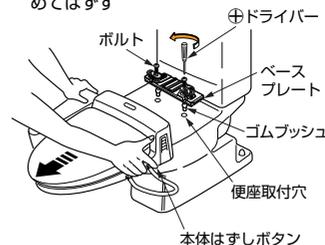
③ 便座はずし工具(同梱品⑦)でナットをはずし、ウォシュレットを取りはずす



温水洗浄便座の取り付けがベースプレート方式の場合

① 右側の本体はすしボタンを押したまま本体を手前に引く。

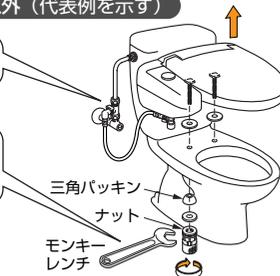
② ベースプレートのボルトをゆるめてはずす



TOTOウォシュレット以外(代表例を示す)

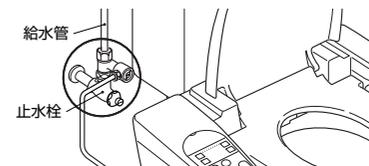
①~②の手順はTOTOウォシュレットの場合と同じ

③ モンキーレンチなどでナットをはずし、温水洗浄便座を取りはずす



2. 分岐金具を取り付ける

● 現在ご使用の止水栓のタイプを確認してください。

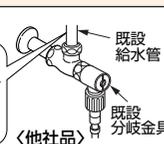


一般的な止水栓



※このタイプの止水栓及び分岐金具の場合、既設給水管は取りはずさず、そのまま使用できます。

内ねじタイプの止水栓



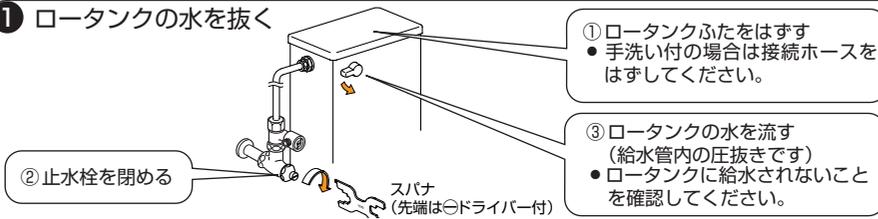
16ページ C にお進みください。

17ページ D にお進みください。

C. 一般的な止水栓の場合

● 同梱品⑧の専用スパナを使用し、取りはずし・取り付けを行ってください。

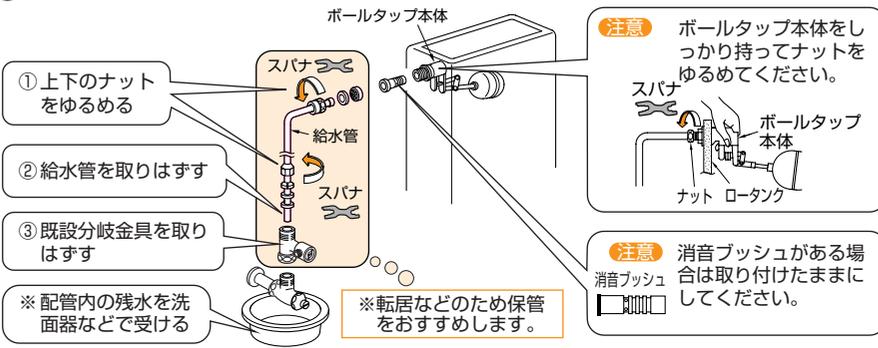
1 ロータンクの水を抜く



① ロータンクふたをはずす
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。

③ ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです)
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

2 既設分岐金具と給水管を取りはずす



① 上下のナットをゆるめる

② 給水管を取りはずす

③ 既設分岐金具を取りはずす

※ 配管内の残水を洗面器などで受ける

※ 転居などのため保管をおすすめします。

注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

3 既設止水栓の部品を取りはずす

● 普通便座からの取り替え 「A. 一般的な止水栓の場合」と同様です。
☞ 12ページ「① 既設止水栓の部品を取りはずす」を参照ください。

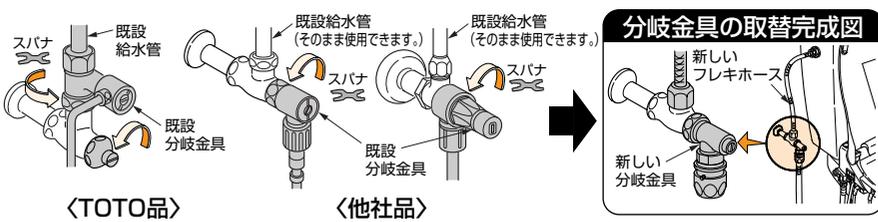
4 分岐金具 (同梱品⑤) を止水栓に取り付ける

● 普通便座からの取り替え 「A. 一般的な止水栓の場合」と同様です。
☞ 13ページ「② 分岐金具 (同梱品⑤) を止水栓に取り付ける」を参照ください。

5 ロータンク接続用フレキホース (同梱品③) を取り付ける

● 普通便座からの取り替え 「B. 内ねじタイプの止水栓の場合」と同様です。
☞ 14ページ「④ ロータンク接続用フレキホース (同梱品③) を取り付ける」を参照ください。

● 製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。



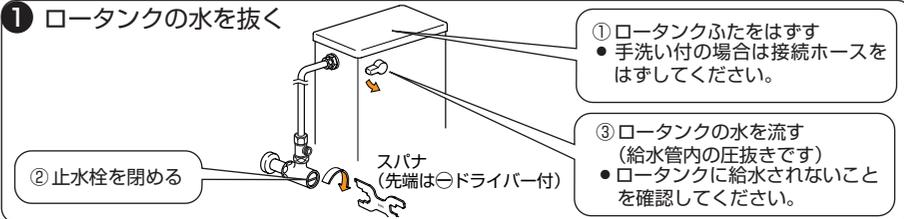
分岐金具の取替完成図

☞ 18ページ「③ ベースプレートの取り付けかた」に進みください

D. 内ねじタイプの止水栓の場合

● 同梱品⑧の専用スパナを使用し、取りはずし・取り付けを行ってください。
※ トイレの止水栓を開めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

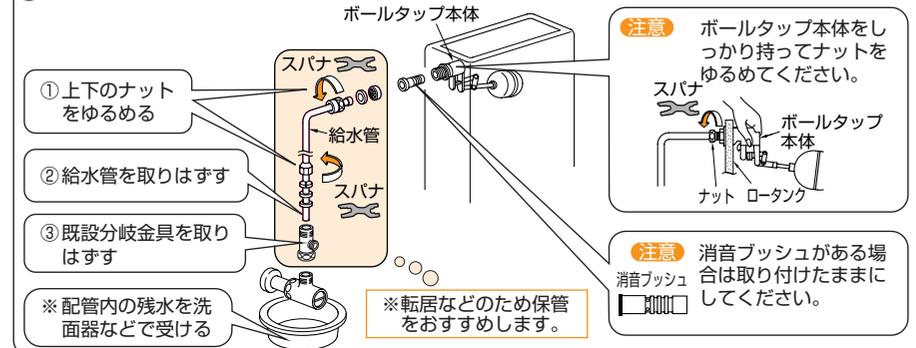
1 ロータンクの水を抜く



① ロータンクふたをはずす
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。

③ ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです)
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

2 既設分岐金具と給水管を取りはずす



① 上下のナットをゆるめる

② 給水管を取りはずす

③ 既設分岐金具を取りはずす

※ 配管内の残水を洗面器などで受ける

※ 転居などのため保管をおすすめします。

注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

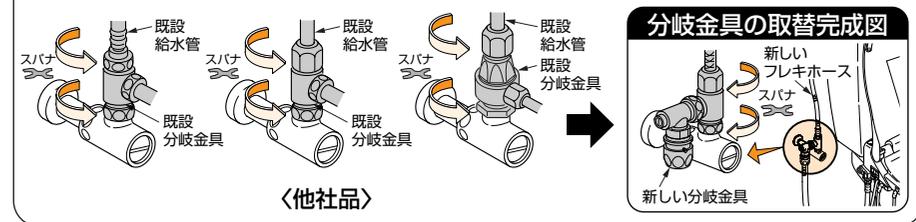
3 分岐継手 (同梱品⑥) を止水栓に取り付ける

● 普通便座からの取り替え 「B. 内ねじタイプの止水栓の場合」と同様です。
☞ 14ページ「③ 分岐継手 (同梱品⑥) を止水栓に取り付ける」を参照ください。

4 ロータンク接続用フレキホース (同梱品③) を取り付ける

● 普通便座からの取り替え 「B. 内ねじタイプの止水栓の場合」と同様です。
☞ 14ページ「④ ロータンク接続用フレキホース (同梱品③) を取り付ける」を参照ください。

● 製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。



分岐金具の取替完成図

☞ 次ページ「③ ベースプレートの取り付けかた」に進みください

4 ウォシュレットの取り付けかた

ウォシュレットを取り付ける

① ウォシュレット本体の中心と、ベースプレートの中心をあわせ『カチッ』と音がするまで押し込む

② まっすぐ取り付いているか確認する

③ 本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認する

注意 正しく取り付けなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。
 18ページ ③ ベースプレートの取り付けかた に戻ってください

本体の取りはずしかた

本体はずしボタン

本体はずしボタンを押したまま、本体を手前に引っ張る

- ※ 本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これは本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたスキマのためです。異常ではありません。
- ※ 標準サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。
- ※ 便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、本体をはずして再度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。
- ※ 大型サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便座先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは再度ベースプレートの位置を調整してください。

5 給水ホースの取り付けかた

給水ホースを接続する

● ウォシュレットをベースプレートから取りはずした状態で接続すると作業しやすくなります。

① ウォシュレット本体の給水口に給水ホース (同梱品②) の袋ナットを締め付ける

注意 給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。
 (無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。)

② 給水ホースのプラグ側を分岐金具の給水カブラに差し込み、給水カブラの凹部と凸部を90°ずらす

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

③ 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する。

※ 給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは約1mです。)
 お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

分岐金具
給水カブラ
プラグ
給水ホース (同梱品②)
給水口
スナバ
袋ナット (パッキン付)
ウォシュレット本体

給水ホースのはずしかた

※ 施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。

① 止水栓を閉める

② ロータンクの水を流す (給水ホース内の圧力を抜くためです)

③ 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる

④ 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く

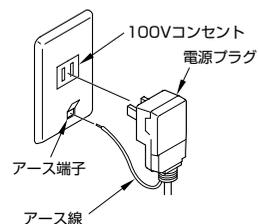
給水ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009Zst5
1480	D24009Zst6
1980	D24009Zst7

※ 給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

6 アース線の接続

アース線を確実に取り付ける

- アース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



7 電源プラグの確認

電源プラグを取り付ける

- 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む
ノズルがいったん出て戻る動作を行うか確認してください。

- 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する
 - 「切 (テスト)」ボタンを押す (切表示が点灯または赤色になります。)
 - 「入 (リセット)」ボタンを押す (切表示が消灯または白色になります。)

以上のように作動すれば正常です。

- 詳しくはP39ページの「電源プラグのお手入れ・点検」をご覧ください。

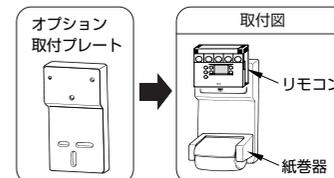
8 リモコンの取り付けかた

リモコンを取り付ける

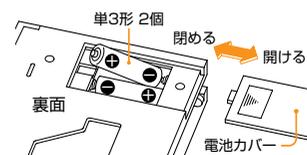
オプションの紹介

■ オプション取付プレート (TCA37S)

- ◎現在ご使用中の紙巻器の取付穴を利用して、リモコンをセットできる取付プレートです。新しくネジ穴を開ける必要がないので壁面をいためず、引っ越しのときも安心です。お求めはTOTOパーツセンター☎0120-8282-55へお電話ください。



1 電池カバーを開け、リモコン (同梱品①) に乾電池を入れる



乾電池を正しくセットすると、リモコン表示部には右図のように表示されます。

表示がでない場合は、乾電池が正しく入っていないことが考えられます。もう一度確認してください。

2 次の確認を行ってリモコンの取付位置を決める

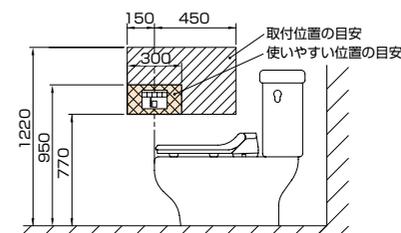
〈操作性の確認〉

- 便座に座った状態で操作を行い取付位置を決めてください。

〈作動の確認〉

- を押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

- ▨のところが取付位置の目安です。
- ▣のところが使いやすい位置の目安です。



注意

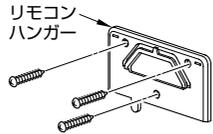
- ※らくらくリモコンを併設する場合は、らくらくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。

ご使用前の確認

ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

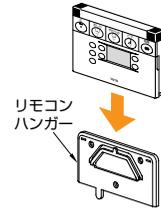
3 リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

※壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合、 下記を参照してください。



4 リモコンをハンガーにセットする

●リモコンをハンガーからはずすときは、真上に引き上げてください。



石膏ボードやタイル・コンクリート壁への取り付け

●壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンハンガーを取り付けてください。

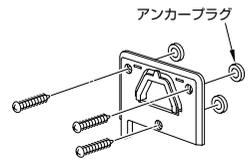
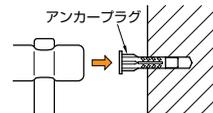
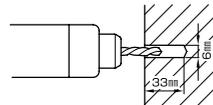
① リモコンハンガーのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径6mmの下穴をあける。

※タイル・コンクリート壁の場合、直径6mm、深さ33mmの下穴を開けてください。

② ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む。

③ リモコンハンガーを⊕ドライバーで取り付ける。

石膏ボードに取り付ける際は、ねじの締め付けがはじめはかたく、いったんゆるくなって再びやかたくなります。やかたくなるまでしっかりと締め付けてください。



乾電池について

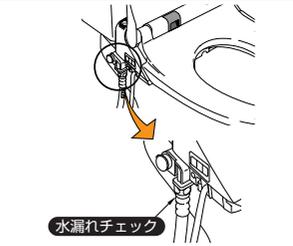
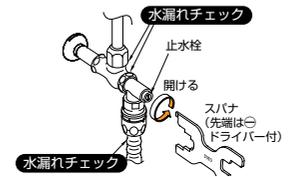
- 乾電池の破裂や液漏れを防ぐために次のことを必ずお守りください。
 - 取り替えは、新しい同種のものを使用する。
 - 長期間使用しないときは、取り出しておく。
 - 充電式の電池は使用しない。
- 電池交換を行うと、温度、タイマー節電などの設定が解除される場合があります。(例…タイマー節電を「入」にしているも「切」になる)もう一度設定をやり直してください。

取り付けが終わったら、「6.ご使用前の確認」( 次ページ)を必ず行ってください。

1 水漏れの点検

- ① 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- ② 水道の元栓を開く(一般的な止水栓の場合)
- ③ 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する

- ④ ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
- ※万一水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。

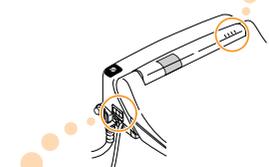
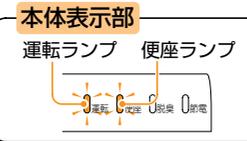


2 「本体表示部」の確認

- 本体表示部の「運転」ランプ、「便座」ランプは点灯していますか?

アドバイス  1

「運転」ランプが点灯していないと全機能が使用できません。本体操作部の  を押してください。(ランプが点灯します。)



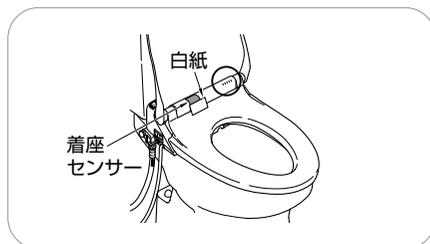
本体操作部



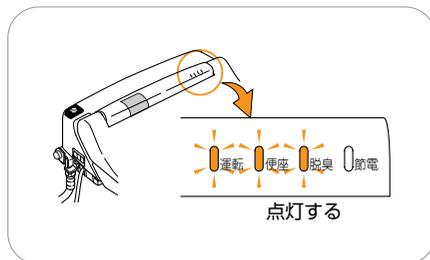
アドバイス  1 便座の「入」「切」や温度調節は 30ページの「温度調節のしかた」をご覧ください。

3 試運転

- ① 着座センサーを白紙でおおう
- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。検知するとノズル付近から数秒間水がでます。(便座を閉めないで着座センサーをはたらきません。)

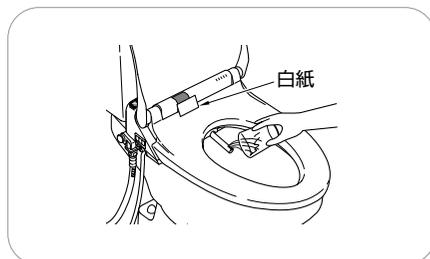


- ② 脱臭機能を確認する
- 本体表示部の「脱臭」ランプが点灯していますか？
 - 本体の背面右側の吹出口より風が出ていますか？



- ③ パワー脱臭機能を確認する
- パワー脱臭 (入/切) を押すと脱臭音が大きくなりますか？
 - もう一度 パワー脱臭 (入/切) を押すと通常の音に戻りますか？

- ④ 洗浄機能を確認する
- おしり (W) やわらか (W) ビデ (W) を押すとノズルから適温の温水が出ますか？(吐水は紙コップなどで受けてください。)
 - 水勢調節 (強) (弱) を押すと水勢が変化しますか？
 - 止 (止) を押すと止まりますか？



- ⑤ 乾燥機能を確認する
- 乾燥 (乾燥) を押すとノズルの右側から温風が出ますか？
 - 止 (止) を押すと止まりますか？



- ⑥ 暖房便座機能を確認する
- 便座があたたまるまで約15分かかります。

- ⑦ 着座センサーの白紙をはずす

- ⑧ オートパワー脱臭機能を確認する
- 脱臭音が大きくなりますか？
 - 約1分後に自動で止まりますか？

- ⑨ 確認後、止水栓を閉めた後、給水フィルターに付いているゴミを水洗いして取りのぞく

アドバイス 1

アドバイス⇒ 1 施工時に発生したごみが給水フィルターに詰まると、おしり・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。取り付け後は必ず給水フィルターの掃除を行ってください。詳しくは41ページ「給水フィルターのお手入れ」をご覧ください。

使いかた

標準的な使いかた

1 便座に座る

- 着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。
- お湯を出す準備のため、ノズル付近から便器内に数秒間水が出ます。
 - 脱臭がはじまります。
- パワー脱臭もお試ください。  31ページ

2 洗う

アドバイス  1

止スイッチ

おしり洗浄、やわらか洗浄、ビデ洗浄を止めます。

おしり洗浄スイッチ

おしりを洗います。

やわらか洗浄スイッチ

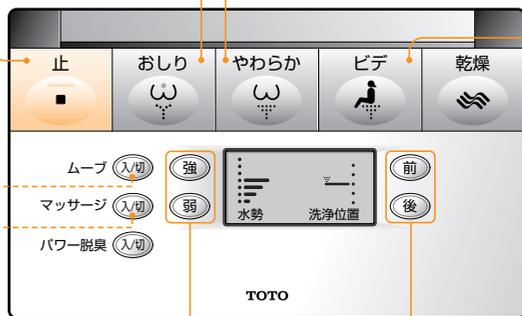
ソフトな水流でおしりを洗います。

ビデ洗浄スイッチ

ビデとして使えます。

快適機能1

快適機能2



水勢調節スイッチ

お好みの水勢を7段階で調節できます。

洗浄位置調節スイッチ

お好みの洗浄位置を5段階で調節できます。

さらに快適な機能

快適洗浄1 ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。



使用するスイッチを押す

- ① **ムーブ** (入切) を押す
 - ムーブ洗浄をします。
- ② もう一度 **ムーブ** (入切) を押す
 - ムーブ洗浄をやめます。

快適洗浄2 マッサージ洗浄

強弱をつけた水勢で洗います。



使用するスイッチを押す

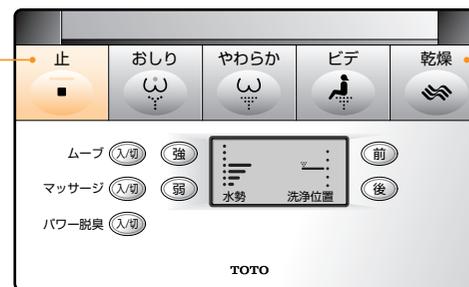
- ① **マッサージ** (入切) を押す
 - マッサージ洗浄をします。
- ② もう一度 **マッサージ** (入切) を押す
 - マッサージ洗浄をやめます。

アドバイス  1 便座には深く腰掛けましょう！
洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

3 かわかす

止スイッチ

乾燥を止めます。



乾燥スイッチ

- 温風を当て、ぬれた部分をさらりとさせます。
- トイレットペーパーでかるく水滴をとると早く乾きます。

4 便座から立ち上がる

- オートパワー脱臭がはじまります。約1分後に止まります。

着座センサーについて

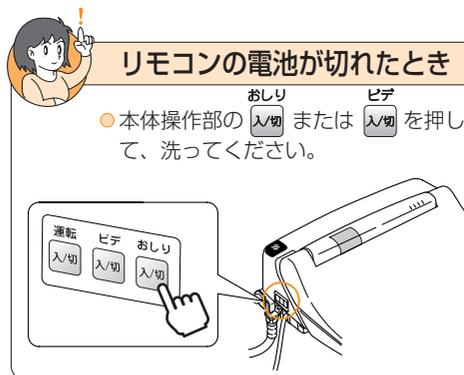
- 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは図のように赤外線が出ています。
- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。



 49ページ

リモコンの電池が切れたとき

- 本体操作部の **おしり** (入切) または **ビデ** (入切) を押して、洗ってください。



快適な機能

温度調節のしかた

●温水、便座、乾燥の温度はリモコンで調節できます。お好みの温度でご使用ください。

1 リモコンのカバーを開ける



2 温度調節する

- 温水、便座の温度は **+** **-** スイッチで適温に調節してください。「切」にする場合は、温度表示が消えるまで **-** スイッチを押してください。 **アドバイス 1**
- 乾燥の温度は、**+** **-** スイッチで5段階の調節ができます。

「温水温度」を調節できます。(30~40℃)

「便座温度」を調節できます。(30~40℃)

「乾燥温度」を調節できます。(5段階)

本体表示部

●便座温度が「入」になると「便座」ランプが点灯します。

点灯する

脱臭のしかた

脱臭には **標準の脱臭** **パワー脱臭** **オートパワー脱臭** の3通りがあります。

標準の脱臭、オートパワー脱臭の使いかた

- 便座に座ると標準の脱臭がはたらきます。便座から立ち上がるとオートパワー脱臭がはたらいて、便器内のおいをとります。

▷ **check** リモコン表示部に「脱臭」「パワー脱臭」が表示されていることを確認してください。

止スイッチ

「脱臭」が表示されている

パワー脱臭入/切スイッチ

便座温度 **-** スイッチ

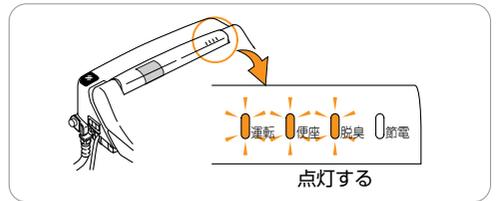
「パワー脱臭」が表示されている

- アドバイス 1**
- リモコンに表示している温度は、目安としてお使いください。
 - リモコンの電池交換をすると、温水・便座・乾燥の設定温度が解除される場合があります。もう一度設定し直してください。

1 便座に座る

脱臭を始めます。 **アドバイス 2**

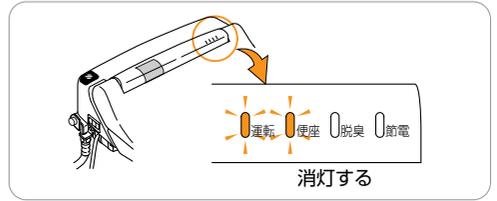
- 本体表示部の「脱臭」ランプが点灯します。



2 便座から立ち上がる

オートパワー脱臭を始めます。約1分後に自動で止まります。 **アドバイス 3**

- 本体表示部の「脱臭」ランプが消灯します。



標準の脱臭を使わないとき

1 リモコンの **止** を10秒以上押す

- リモコン表示部がすべて点滅します。

2 パワー脱臭 **入/切** を押す **アドバイス 4**

3 もう一度 **止** を押す

標準の脱臭をやめます。

- リモコン表示部の「脱臭」が消えます。
- オートパワー脱臭、パワー脱臭は使えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。

オートパワー脱臭を使わないとき

1 リモコンの **止** を10秒以上押す

- リモコン表示部がすべて点滅します。

2 便座温度 **-** を押す **アドバイス 4**

3 もう一度 **止** を押す

オートパワー脱臭をやめます。

- リモコン表示部の「パワー脱臭」が消えます。
- 脱臭、パワー脱臭は使えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。

パワー脱臭の使いかた

- 便座に座って、においが気になるときに、吸い込み力をアップさせて便器内のおいをとります。 **アドバイス 5**

リモコンの **パワー脱臭 入/切** を押す

パワー脱臭を始めます。

パワー脱臭をやめるとき

もう一度 **パワー脱臭 入/切** を押す

標準の脱臭に戻ります。 **アドバイス 6**



- アドバイス 2** はじめは、脱臭は「入」に設定されています。
- アドバイス 3** はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。
- アドバイス 4** 本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。
- アドバイス 5** パワー脱臭は、便座に座らないとはたらきません。いったん便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。
- アドバイス 6** パワー脱臭 **入/切** を切らずに立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

使いかた

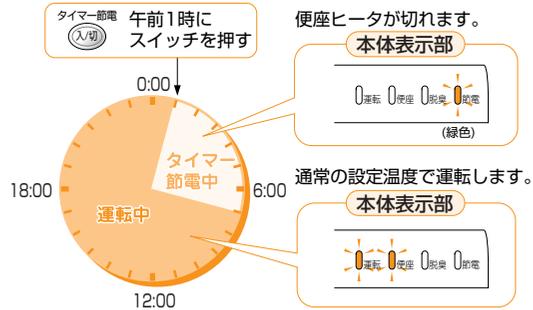
節電機能

タイマー節電のしかた

タイマー節電とは…

- 一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。タイマー節電中は便座ヒータが切れます。

■例えば…午前1時から7時まで(6時間)節電をする場合

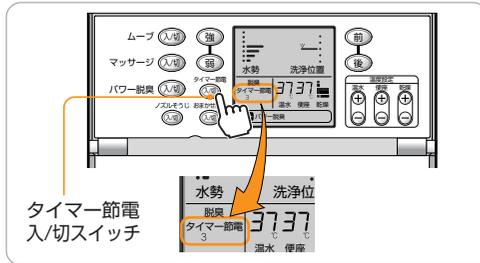


例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合

1 節電を開始したい時刻(午前1時)になったらリモコンの「タイマー節電」を押す

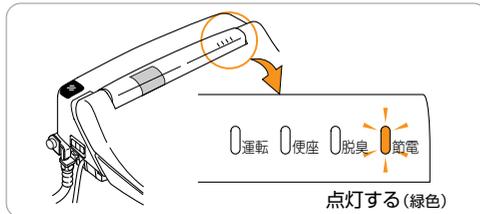
節電を始めます。

- リモコン表示部に「タイマー節電3」が表示されます。



2 タイマー節電を押して6時間に設定する

- タイマー節電中は本体表示部の「節電」ランプ(緑色)が点灯します。

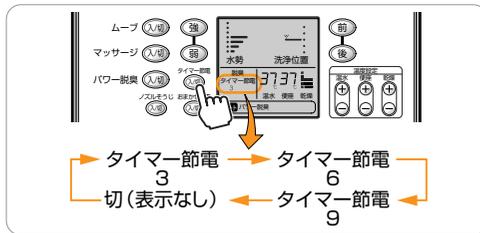


節電時間の変更

タイマー節電を押す

- スイッチを押すごとに、3→6→9→切(表示なし)の順で表示が変わります。設定したい時間をお選びください。

※節電時間(3・6・9時間)を変更したいときは、節電を開始する時刻に再度設定し直してください。



アドバイス⇒1 タイマー節電中でも使えます。タイマー節電中でも便座に座れば、一時的に便座ヒータが入ります。便座があたたまるまで約15分かかります。

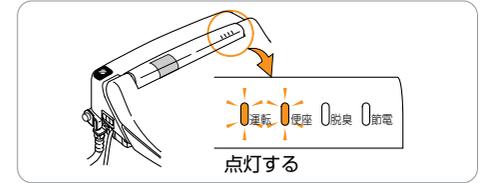
アドバイス⇒2 節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度「タイマー節電」を押してください。

タイマー節電をやめるとき

「タイマー節電」と「時間の表示が消えるまで」の表示が消えるまで「タイマー節電」を押す

節電をやめます。

- 本体表示部の「運転」ランプ、「便座」ランプが点灯します。

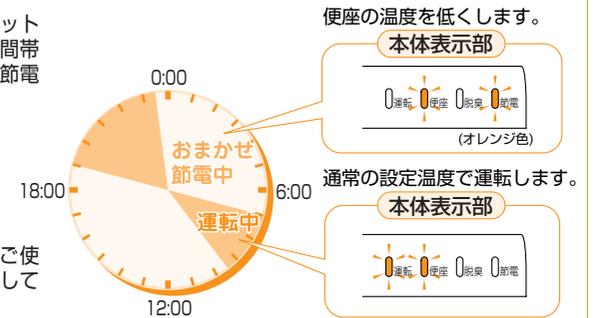


おまかせ節電のしかた

おまかせ節電とは…

- トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて節電します。

- 同じ時間帯に1週間のうち2回程度のご使用であれば、あまり使用しない時間として節電していきます。



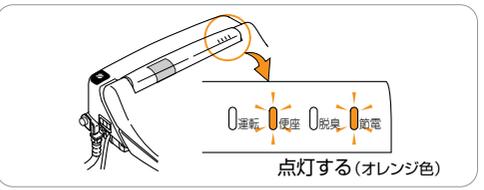
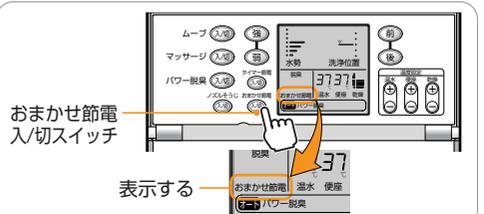
リモコンの「おまかせ節電」を押す

- リモコン表示部に「おまかせ節電」が表示されます。

自動で便座の温度を下げて、節電を始めます。

アドバイス⇒3・4

- あまり使用しない時間になると本体表示部の「節電」ランプ(オレンジ色)が点灯します。



アドバイス⇒3 トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで、2~3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。

アドバイス⇒4 おまかせ節電中でも使えます。おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定していますが、便座に座ると一時的にあたかくなります。

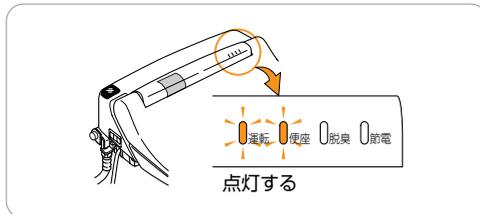
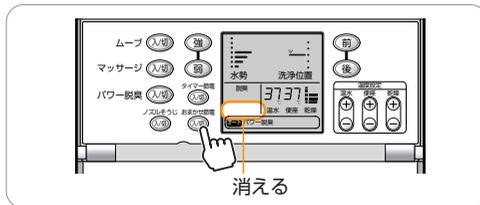
使いかた

おまかせ節電をやめるとき

おまかせ節電
入切 を押す

おまかせ節電をやめます。

- リモコン表示部の「おまかせ節電」が消えます。
- 本体表示部の「運転」ランプが点灯します。



タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

- スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

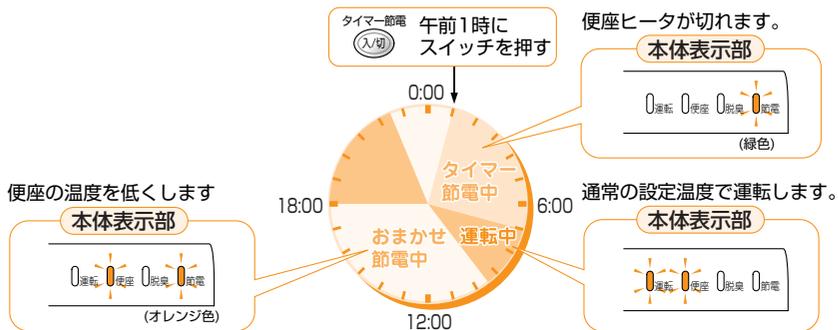
節電を開始したい時刻に、
タイマー節電 入切 を押す

- ㊦ タイマー節電のしかたは32ページ

おまかせ節電
入切 を押す

- ㊦ おまかせ節電のしかたは33ページ

例えば、次のように節電します。

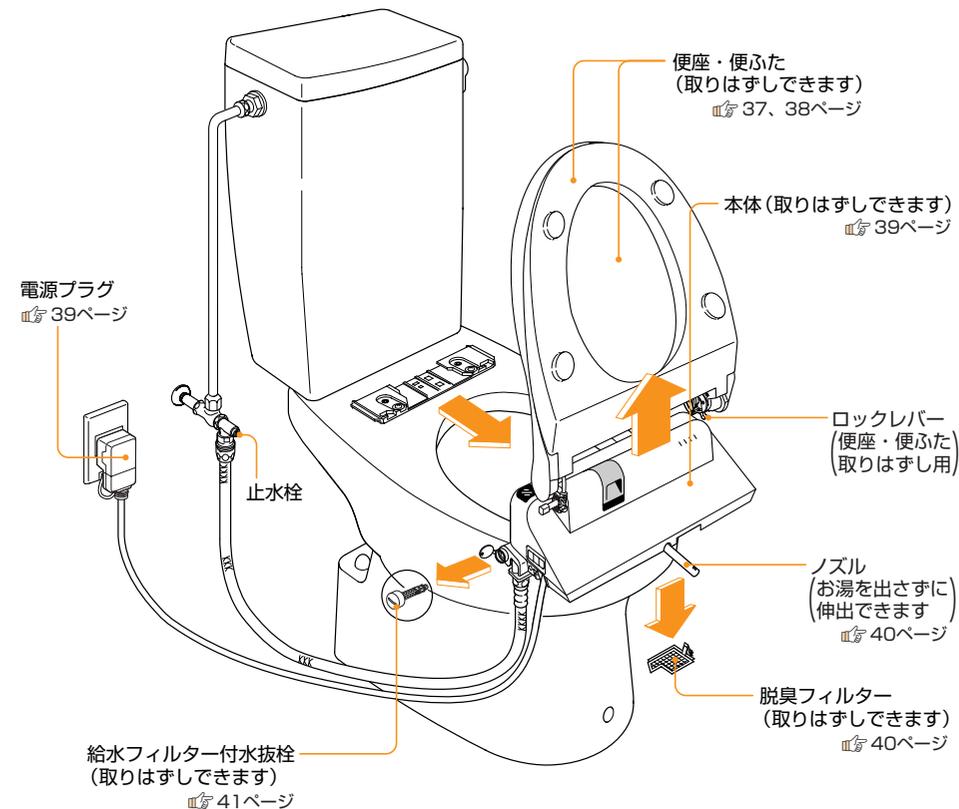


- タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて、節電します。

お手入れのしかた

お手入れの前に

各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます



日常のお手入れ

■ 本体、便座、便ふたのお手入れ

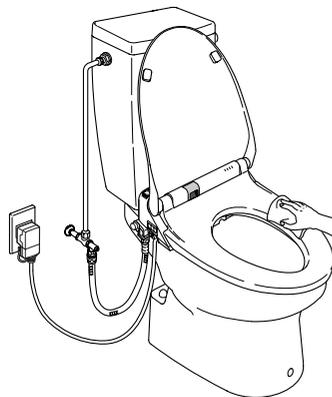
やわらかい布で水ぶきする

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。 **アドバイス 1・2**

ご注意ください！

便座・便ふたは容易に取りはずして、お手入れができるようになっています。

- お手入れ中に無理な力を加えると、便座・便ふたがはずれることがあります。
- 🔧 便座・便ふたがはずれたときは38ページをご覧くださいのうえ、取り付けてください。



汚れがひどいときは…

- ウォシュレットクリーナー、またはうすめた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。
- その後、水ぶきを行ってください。
- 🔧 ウォシュレットクリーナーのお求めは53ページ

便器用洗剤が付着したときは…

- やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

ご注意ください！

便器内を洗剤でお手入れするときは…

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふきとってください。(便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。)

- アドバイス 1**
- 製品はプラスチックでできていますので、乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。
 - ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。洗剤が本体と便器のスキマに残らないようしっかりふき取ってください。

- アドバイス 2** 着座センサー、リモコン送信部・受信部をきれいにしましょう！
汚れていると各機能が作動しないことがあります。 🔧 29、46～49ページ

念入りなお手入れ

■ 本体、便座、便ふたのお手入れ

- 便座・便ふたが取りはずれますので、すみずみまで掃除できます。

便座・便ふたのはずしかた

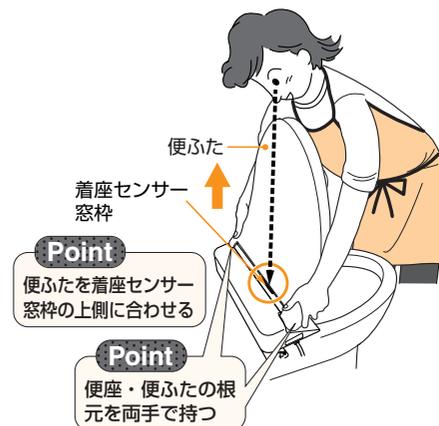
1 便座・便ふたを開けて、ロックレバー(灰色)を「カチッ」と音がするまで確実に上げる



2 便座・便ふたの根元を一緒に持つ

着座センサー窓枠(黒色)の上側に便ふたを合わせる

便座・便ふたを両手で真上に引き上げる



※便座コードは約5cmしか引き出せません。無理に引っ張ったりしないでください。(断線の原因になります。)

※斜めに引き上げたり、無理に力を加えないでください。(破損の原因になります。)

3 取りはずした便座・便ふたを図のように便器の上に置く

4 本体及び便座・便ふたの掃除をする

- 🔧 お手入れのしかたは36ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

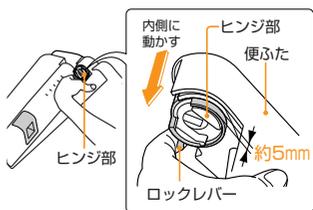




便座から便ふたをはずすことができます！

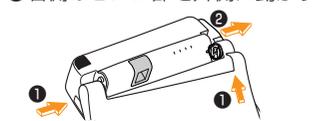
【取りはずしかた】

- ①右側のロックレバーに指をかけて、ヒンジ部を内側に動かす（約5mm）
- ②便ふたを便座から取りはずす
※便座からロックレバー、ヒンジ部ははずれません。



【取り付けかた】

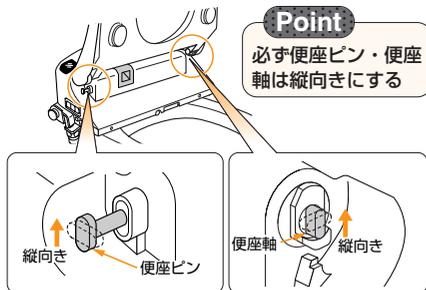
- ①便ふたを左方向から便座に重ね合わせる
- ②右側のヒンジ部を外側に動かす



便座・便ふたの取り付けかた

5 便座ピンと便座軸が縦向きになっていることを確認する

※縦向きでないときはペンチなどで回して縦向きにしてください。



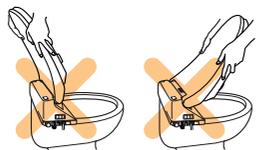
6 ロックレバー（灰色）が上がっていることを確認する

※ロックレバーを確実に上げた状態でないと、便座・便ふたの取り付けができません。



7 便座・便ふたを着座センサー窓枠（黒色）の上側に合わせて、便座ピン・便座軸に強く押し込む

※便座コードの青い線がねじれないように取り付けてください。



※傾けた状態で押し込むと破損につながります。

Point

左右一緒に押し込む



8 ロックレバー（灰色）を「カチッ」と音がするまで確実に下ろす

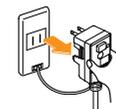
※ロックレバーが下りないときは便座・便ふたが取り付けいていません。もう一度、便座・便ふたを取り付け直してください。



本体と便器のスキマのお手入れ（月に1度が目安です）

●本体をはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。

1 電源プラグを抜く



2 本体を取りはずす

- 本体右側の本体はずしボタンを押したまま、本体を手前に引いてください。
- ※給水ホース・電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。



3 掃除をする

- お手入れのしかたは36ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

4 本体を取り付ける

- ①本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
- ②便器面に本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



定期的なお手入れ

電源プラグのお手入れ・点検

●電源プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

1 電源プラグを抜く



2 掃除をする

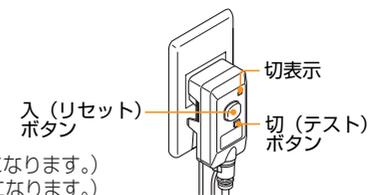
- 電源プラグの刃などに付いたほこりを乾いた布で取り除いてください。

3 電源プラグを差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

4 点検をする

- ①「切（テスト）」ボタンを押す（切表示が点灯または赤色になります。）
- ②「入（リセット）」ボタンを押す（切表示が消灯または白色になります。）



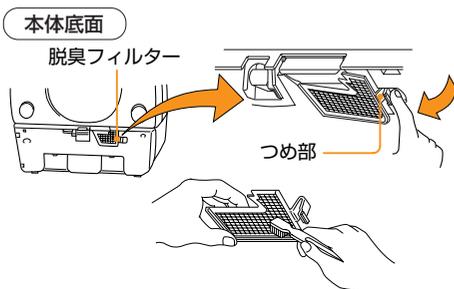
以上のように作動すれば正常です。

脱臭フィルターのお手入れ (月に1度が目安です)

●においが気になる場合は、本体をはずして脱臭フィルターの掃除を行ってください。

1 脱臭フィルターをはずす

- フィルターのつめ部を押して、手前に引いてください。



2 掃除をする

- フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。【アドバイス 1】

3 脱臭フィルターを取り付ける

- フィルターの左側を本体に引っ掛け右側にあるつめ部を「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。
※ フィルターなしで、絶対に使用しないでください。(故障の原因になります。)



ノズルのお手入れ

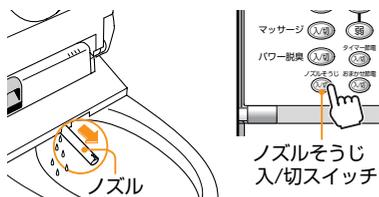
● ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

1 ノズルを出す

- リモコンの「ノズルそうじ」を押してください。

ノズルが出てきます。

- ノズルは、約5分後に自動で収納します。



2 掃除をする

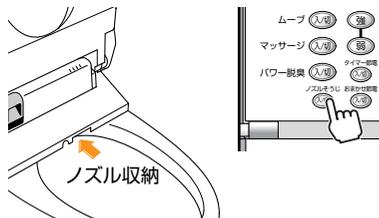
- やわらかい布で水ぶきをしてください。
※ ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。(破損や故障の原因になります。)



3 ノズルを収納する

- もう一度「ノズルそうじ」を押してください。

ノズルが収納し、自動でノズルを洗浄します。



アドバイス⇒ 1 フィルターの掃除

- フィルターは水洗いできますが、取り付けの前に水気を取ってください。フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。【交換部品/別売品は53ページ】
ノズルの根元からお掃除のための水が出ます。

給水フィルターのお手入れ

● 洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

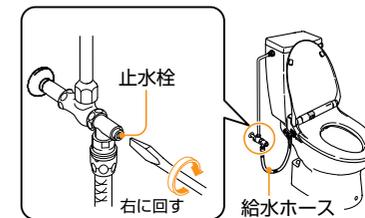
1 止水栓を閉めて給水を止める

- 止水栓を⊖ドライバーで閉めてください。
- ロータンクレバーを回してロータンクの水を流してください。(給水管内の圧抜きです。)

注意



- 止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
- 水が噴き出します。



2 キャップ(灰色)を⊖ドライバーで開ける



3 給水フィルター付水抜栓をはずす

- 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずしてください。



4 掃除をする

- フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。
※ 小さいゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
※ 給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも、綿棒などで取り除いてください。【アドバイス 2】



5 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締めてください。

注意



- 給水フィルター付水抜栓は確実に締める
- 確実に締めないとき水漏れの原因になります。

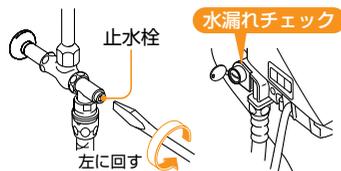


アドバイス⇒ 2 フィルターの掃除

- 洗剤は使わず水洗いしてください。
- フィルターをはずしたり、破ったりしないでください。フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。【交換部品/別売品は53ページ】

6 止水栓を開ける

- 止水栓を⊖ドライバーで開けてください。
- ※給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。



7 キャップ(灰色)を閉める



凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

凍結が予想される時 アドバイス 1

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

ご注意ください！ 凍結予防の作業前には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く

- 1 止水栓を⊖ドライバーで閉めて、給水を止める



- 2 ロータンクレバーを大洗浄側に回し、ロータンクの水を抜く

アドバイス 2



2 配管の水を抜く

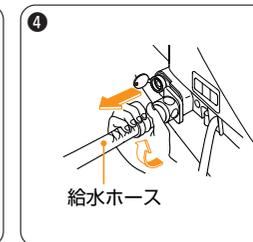
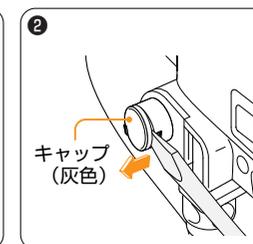
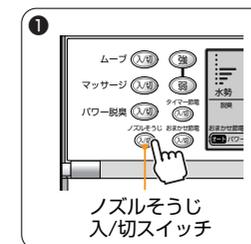
- 1 リモコンの  を押す
(製品内部の残水を抜きます。)
- 2 キャップ(灰色)を⊖ドライバーで開ける
- 3 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす

注意



止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない
禁止
• 水が噴き出します。

- 4 給水ホースを水平にして、ホース内の水を抜く(約30ml)



アドバイス 1 凍結が予想される時

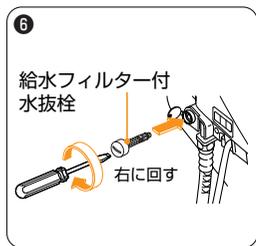
節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

⏰ タイマー節電をやめるときは33ページ 🗂️ おまかせ節電をやめるときは34ページ

アドバイス 2 ロータンクの水が流れてしまうまで、ロータンクレバーをまわしたままにしてください。

5 もう一度、 を押す
(ノズルを元に戻します。)

6 給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める



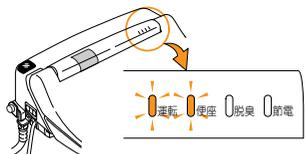
注意

 給水フィルター付水抜栓は確実に締める
●確実に締めないと、水漏れの
必ず守る 原因になります。

7 キャップ(灰色)を閉める

3 ウォシュレット内を保温する

- 1  が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「40℃」にする
- 2 便ふたを閉める



長期間使わないときの処置

●長期間使用しないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。
また、製品が凍結するおそれがありますので水抜きを行ってください。 **アドバイス 1**

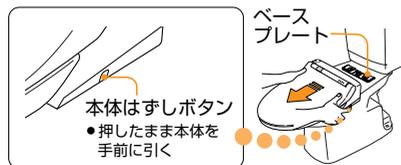
水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く  43ページ

2 配管の水を抜く  43~44ページ

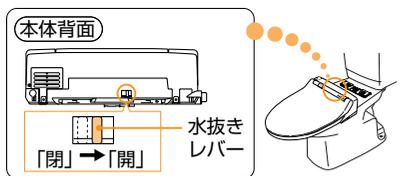
3 本体を取りはずす

1 本体右側の本体はずしボタンを押したまま、本体を手前に引く



4 水抜きレバーを「開」位置にして本体内の水を抜く

※本体ははずさないで水抜きレバーの操作はできません。
●本体下側から水(約40ml)が便器内に出ます。



5 水抜きレバーを「閉」の位置に戻す

アドバイス 1 ■冬季に帰省されるとき
■別荘などで使用されるとき
水抜きをしましょう！冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。
凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

6 本体を取り付ける

- 1 本体中心とベースプレートの中心を合わせる
 - 2 便器面に本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



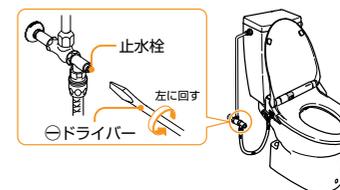
7 電源プラグを抜く

8 便器に不凍液を入れる

水抜き後に再通水するとき

1 止水栓を開ける

- 止水栓を⊖ドライバーで開ける
- ※配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 ノズルから吐水させる **アドバイス 2**

- 着座センサーを白紙でおおい、 または   を押してノズルから吐水させます。
(吐水は紙コップなどで受けてください。)

アドバイス 2 残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯を浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

故障かな?!と思ったら

故障かな?!と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためてみてください。それでも直らないときは、お取付店、販売店または東陶メンテナンス（株）にご相談ください。

連絡先 東陶メンテナンス（株）

☎ 0120-1010-05

受付（年中無休）

受付時間：関東・甲信越地区 8:00~20:00

上記以外の地区 9:00~20:00

訪問修理（年中無休）

営業時間： 9:00~18:00

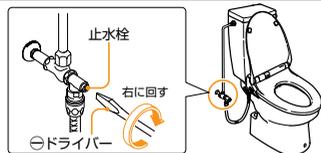
修理を依頼するときは、電源プラグは必ず抜いてください。

注意



必ず守る

水漏れが発生したときは、
止水栓を閉めて給水を止める



■修理を依頼される前に次のことを確認してください。

全機能

現象	確認(原因)	処置
全く動かない	停電したりブレーカが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」が赤色になっていませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。☎39ページ
	本体表示部の全てのランプが消灯していませんか。	本体操作部の ^{運転} 入物を押してください。☎25ページ
	本体がベースプレートからはずれていませんか。	本体を一度はずしてもう一度ベースプレートにセットし直してください。☎39ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	確認(原因)	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	^止 を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていませんか。	止水栓を開けてください。☎25ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎49ページ
洗浄水勢が弱い	水勢の設定が弱くなっていませんか。	リモコンの「水勢調節」スイッチの ^強 を押してください。☎28ページ
	給水フィルターが詰まっていますか。	給水フィルターを掃除してください。☎41ページ
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	リモコンの ⁺ ⁻ で調節してください。☎30ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	確認(原因)	処置
洗浄水が途中で止まった	^{おしり} ^{やさらか} または ^{ビデ} を押してから約5分後に自動で止まります。 着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	もう一度 ^{おしり} ^{やさらか} または ^{ビデ} を押してください。☎28ページ 着座センサーの項目をご覧ください。☎49ページ
便座に座ると、ノズル付近から、便器内に数秒間水が流れる	着座センサーがはたらくとお湯を出す準備のため水を流します。また、着座中に体勢を変えると着座センサーが切/入し、ノズル付近から数秒間水が流れます。故障ではありません。	-

暖房便座

現象	確認(原因)	処置
便座があたたかかない	便座温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	リモコンの ^{暖房} ⁺ ⁻ で調節してください。☎30ページ
便座が冷たくなった	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒーターが入り、約15分であたたかくなります。☎32ページ
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ると一時的にあたたかくなります。☎33ページ

温風乾燥

現象	確認(原因)	処置
温風温度が低い	乾燥温度の設定が低くなっていませんか。	リモコンの ^{乾燥} ⁺ ⁻ で調節してください。☎30ページ
温風乾燥が途中で止まった	^{乾燥} を押してから約10分後に自動で止まります。 着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	もう一度 ^{乾燥} を押してください。☎29ページ 着座センサーの項目をご覧ください。☎49ページ
温風乾燥が全く動かない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎49ページ

脱臭

現象	確認(原因)	処置
離座すると脱臭の音が大きくなる	はじめは、オートパワー脱臭が「入」になっています。 オートパワー脱臭は離座後、吸い込み力をアップさせて脱臭するように設定されています。	-
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎49ページ

脱臭

現象	確認(原因)	処置
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 脱臭フィルターを掃除してください。 40ページ 脱臭フィルターの掃除をしてもにおいが気になる場合は脱臭カートリッジの交換をおすすめします。 50ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。 <ul style="list-style-type: none"> トイレ内の手洗器を使用したとき 掃除のとき ロータンクレバーを操作したとき など 	-

節電機能

現象	確認(原因)	処置
おまかせ節電のスイッチを入れても節電しない	トイレをあまり使用しない時間帯を見つかるまで2~3日かかります。同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	-
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。 電源プラグを抜いたり、停電したときにリモコンの電池交換をしませんでしたか。 (設定時間がずれることがあります。)	その日は正常にはたらかない場合がありますが、翌日からは通常通りにはたらくようになります。 リモコンの (タイマー節電) または、 (おまかせ節電) を押し、もう一度設定し直してください。徐々に正しい時間に節電し直します。 32、33ページ
節電しなくなった	リモコンの電池交換をしませんでしたか。(設定が消えることがあります。)	リモコンの (タイマー節電) または、 (おまかせ節電) を押し、もう一度設定し直してください。 32、33ページ

リモコン

現象	確認(原因)	処置
リモコンで操作できない	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に交換してください。 23ページ
	乾電池の⊕⊖の方向をまちがえていませんか。	乾電池を正しく入れてください。 23ページ
	リモコン送信部・受信部が何かでおおわれていますか。	ぞうきんなどおおっているものを取り除いてください。
	リモコン送信部・受信部にゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 49ページ
リモコンのスイッチを押したとき、リモコン表示部がいったん消えていますか。	新しい乾電池に交換してください。 23ページ	
この場合は乾電池が消耗しています。		

リモコン

現象	確認(原因)	処置
リモコンの電池を取り替えたら便座温度、タイマー節電などの設定が変わった	電池を取り替えると設定が変わります。(例…タイマー節電を「入」にしているも「切」になる)	もう一度設定をやり直してください。

ソフト閉止

現象	確認(原因)	処置
便座・便ふたカバーをつけると閉まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	-
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって少し速さが変わります。故障ではありません。	-

着座センサー

現象	確認(原因)	処置
便座に座っていないのに、スイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていませんか。 着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	着座センサーをおおわないようにしてください。 29ページ ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのに、おしり洗浄や脱臭などが作動しない	座りかた、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。 衣服で着座センサーがおおわれていませんか。 着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	座りかたをかえたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。 衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。

その他

現象	確認(原因)	処置
便座に座っていないのに、本体ノズル付近から水が出る	次のような場合、着座センサーが検知して作動することがあります。故障ではありません。 <ul style="list-style-type: none"> トイレ内の手洗器を使用したとき 掃除のとき ロータンクレバーを操作したとき など トイレ内が冷え込むと凍結予防のため、ウォシュレット本体が自動で水抜きすることがあります。このとき約10秒間水抜き音が出ます。故障ではありません。	-
本体がガタつく	本体を固定しているベースプレートのボルトが緩んでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかり締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続部のナットがゆるんでいませんか。	モンキーレンチで増し締めしてください。

脱臭カートリッジの取り替えかた

●脱臭フィルターを掃除しても、まだにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。交換部品/別売品は53ページ

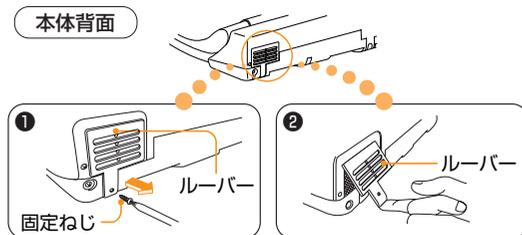
1 本体を取りはずす

- 本体右側の本体はずしボタンを押したまま、本体を手前に引いてください。



2 本体背面のルーバーをはずす

- ①ルーバーの固定ねじを⊕ドライバーではずす
- ②ルーバーの下面をもってルーバーを本体からはずす



3 脱臭カートリッジの突起部をつまんで引き出す

※脱臭カートリッジの黒粉が手についた場合は、すぐに手を洗ってください。(皮ふや目などに接触した場合、炎症を起こすおそれがあります。)

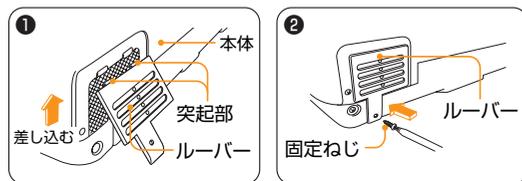


4 新しい脱臭カートリッジを取り付ける

※脱臭カートリッジは確実に奥まで押し込んでください。

5 ルーバーを取り付ける

- ①ルーバーの突起部を本体に差し込む
- ②本体のルーバー取り付け穴に⊕ドライバーで固定ねじを締め付ける



6 本体を取り付ける

- ①本体中心とベースプレートの中心を合わせる
 - ②便器面に本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



アフターサービス

修理を依頼される前に、「故障かな?!と思ったら」の項をご確認ください。

●保証書

- 必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1カ年です。

●補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●部品交換について

- 無料修理により交換された部品・製品は東陶機器(株)の所有となります。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店または東陶メンテナンス(株)に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名
品番 (TCF・・・)・・・※便ふたの裏をご覧ください。
お買い上げ日……………※保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

●保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めの販売店または東陶メンテナンス(株)にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

定期点検のおすすめ (有料)

- 逆流防止装置 (バキュームブレーカー・Oリング) は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検は東陶メンテナンス(株)にご依頼ください。

<お問い合わせ先>

東陶メンテナンス(株) ☎ 0120-1010-05
受付 (年中無休)
受付時間: 関東・甲信越地区 8:00~20:00
上記以外の地区 9:00~20:00
訪問修理 (年中無休)
営業時間: 9:00~18:00

- 定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金のしくみ<東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

仕様

項目		内容	
定格電圧		交流100V 50/60Hz	
定格消費電力		1277W	
1時間当たりの標準消費電力量※1		21Wh	
電源コード長さ		1.0m (漏電保護プラグ、アース線付)	
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄	約0.27~0.43L/min (水圧0.2MPaのとき)
		やわらか洗浄	約0.27~0.43L/min (水圧0.2MPaのとき)
		ビデ洗浄	約0.29~0.43L/min (水圧0.2MPaのとき)
	吐水温度	温度調節範囲	約30~40℃
	ヒータ容量	1200W (瞬間式)	
温風乾燥装置	安全装置	温度ヒューズ、温度過昇防止器(自動復帰式バイメタル)、空焚き防止フロートスイッチ	
	逆流防止装置	パキュームブレーカー、逆止弁	
	温風温度※2	温度調節範囲	約40~60℃
	風量	0.30m³/min	
	ヒータ容量	350W	
暖房便座	安全装置	温度ヒューズ	
	表面温度	温度調節範囲	約30~40℃ (おまかせ節電時 約26℃)
	ヒータ容量	50W	
脱臭装置	安全装置	温度ヒューズ	
	方式	O ₂ 脱臭	
給水圧力	風量	標準モード: 0.09m³/min、パワーモード: 0.16m³/min	
	最低必要水圧: 0.05MPa/min (流動圧) 最高水圧: 0.75MPa/min (静水圧)		
給水温度		0~35℃	
周囲使用温度		0~40℃	
製品寸法	エロンゲート	幅400mm、奥行532mm、高さ131mm	
製品質量		5.2kg	

※1 測定条件: 省エネ法に基づいて、便座サイズや湯沸し方式等の種類別の算定式により、4人家族(男性2人、女性2人)で1日あたり12回使用した場合を基準に年平均(室温15℃、水温15℃)で算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算出しております。

※2 温風吹出口付近における当社測定点の温度

抗菌

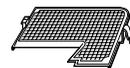
抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z 2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z 2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。	抗菌性能持続性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
		安全性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、リモコン(スイッチ)	禁止事項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
抗菌剤の種類	無機系(銀)	取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

※ 抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

交換部品/別売品

交換部品

脱臭フィルター (品番: D45214)



【希望小売価格 ¥30 (税込¥32)】

給水フィルター付水抜栓 (品番: D432072N)



【希望小売価格 ¥460 (税込¥483)】

便座クッション (品番: D42014R)



【希望小売価格 ¥170 (税込¥179)】

便ふたクッション (品番: D42080Z)



【希望小売価格 ¥280 (税込¥294)】

脱臭カートリッジ (品番: TCA83)



【希望小売価格 ¥1,350 (税込¥1,418)】

別売品

ウォシュレットクリーナー (品番: YTCF1)

- 汚れをスッカリ落とす除菌剤配合の便座専用洗剤です。ウォシュレットをお取り付けの工事店、販売店、TOTOパーツセンターでご購入できます。
希望小売価格: ¥1,000 (税込 ¥1,050)
送料: ¥500 (税込 ¥525)
容量: 185ml
- ※送料は1回のご購入金額が¥10,000 (税込 ¥10,500) 未満の場合は¥500 (税込 ¥525)、¥10,000 (税込 ¥10,500) 以上の場合は無料とさせていただきます。

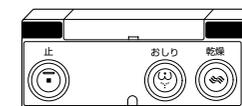


便座・便ふたカバー (同梱の通信販売カタログをご覧ください。)

- 便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、必ずTOTO専用カバーをお求めください。
※市販のカバーでは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤作動の原因になることがあります。

らくらくリモコン (品番: TCA55)

- かんたん操作のらくらくリモコンがコンパクトになりました。だれにでも使いやすい大きなスイッチのリモコンです。
(寸法: 幅220mm 奥行25mm 高さ84mm)



【希望小売価格 ¥8,000 (税込¥8,400)】

■ 商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ

0120-03-1010

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

■ 部品のご購入はTOTOパーツセンターへ

0120-8282-55

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

こんなときは

M E M O

Handwriting practice area with 25 horizontal dotted lines.

M E M O

Handwriting practice area with 25 horizontal dotted lines.